

JAセレサ川崎 機関誌

CERESA

1 月号

2019 January

No.256

特集

新春座談会

「後継者の育成と光触媒の可能性」

<http://www.jaceresa.or.jp/>

Contents

特集 新春座談会『後継者の育成と光触媒の可能性』	3
PICK UP	8
川崎探検隊 井田周辺～木月を歩く	12
逸 私の好きなこと オンリーワンの作品づくり 川崎区・吉澤 としえさん	14
ひゅうまん 暮らしやすい街づくりに貢献 麻生区・鈴木 錠さん	15
POWER全開! 日々の農作業を全力サポート 高津区・森 恵美子さん	16
食&農 キャベツ	17
農作業ノート 果樹の間伐(間引き)で生産性の向上 営農技術顧問・片木 新作	18
農協改革 & 運勢	19
mail box & クロスワードパズル	20
JAからのお知らせ & 教えてJA! Q&A広場	21
インフォメーション	22
いきいきファーマーズ 麻生区・碓井 清司さん 高津区・本多 茂基(本多 武司)さん 宮前区・鈴木 敏夫さん 麻生区・市川 悌二さん セレサモスからのお知らせ	23
DISH UP! 炒りなます 多摩区・細田 美佐子さん	24

2月の行事予定

7日(木) 第61回全国家の光大会
(9時～、パシフィコ横浜)

11日(月) 建国記念日

15日(金) 第2回総代・組織リーダー研修会
(15時～、本店)

19日(火) 定例理事会

26日(火) 組合員の集い
(15時10分～、カルッツかわさき)

27日(水) 組合員の集い
(11時～、15時10分～、カルッツかわさき)

28日(木) 組合員の集い
(11時～、15時10分～、カルッツかわさき)

※日程等は変更されることがあります

今月の
表紙



《ダイコンの収穫作業》

今月の表紙は、住宅地に面した畑でダイコンの収穫作業に励む多摩区堰の並木亮介さん。

並木さんは、主力の梨の他、キャベツやブロッコリーなど定番野菜の栽培にも力を入れ、年間20品目以上栽培。畑のそばにある直売所で販売しています。

直売所ではおすすめの調理法を紹介したり、お客さんの要望をできる限り作付け計画に反映させるなど、対面販売の利点を活かしてリピーターの増加につなげています。

ダイコンの収穫を終えると、3月に収穫を迎えるブロッコリーの管理、梨の剪定や授粉などの作業が休みなく続きます。



後継者の育成と光触媒の可能性



代表理事組合長 原 修一

昨年約25年ぶりに川崎市名誉市民が選出されました。

そこで今号では、新春特別企画として、原組合長と「光触媒」の研究や科学技術の普及啓発などに多大な貢献をされ名誉市民の栄誉に輝かれた藤嶋昭先生ととみ子夫人に、後継者の育成や光触媒の可能性などについて語っていただきました。

(高津区坂戸 ホテルKSP・光触媒ミュージアムにて収録)



藤嶋 昭氏

東京理科大学前学長・栄誉教授、東京応化科学技術振興財団理事長、かわさき市民アカデミー理事長、光触媒ミュージアム館長他。平成29年文化勲章受章、平成30年川崎市名誉市民章受章。



藤嶋 とみ子氏

日舞扇乃会会主『花柳錦右(はなやぎきんう)』、川崎市文化財団理事、川崎市生涯学習財団理事、中原区文化協会顧問、川崎市総合文化団体連絡会顧問他。

科学と文化で 大きな功績

組合長 明けましておめでとうござい
ます。本年もよろしく願
いいた
します。

夫妻 明けましておめでとうござ
います。本年もよろしく願
いいた
します。

組合長 昨年は大型農産物直売所
「セレサモス」麻生店が10周年、宮前
店の累計来場者数が100万人を突
破した他、貯金残高が1兆5000億
円の大台を達成するなど、JAセレサ
川崎にとりまして非常にうれしい出来
事が続きました。これも組合員をはじめ
JAをご利用いただいている皆さま
のおかげと心より感謝しております。
昭 それは素晴らしい1年でし
たね。私もJAを利用して
いる准組
合員としてうれしく思
います。

とみ子 私もときどきセレサモスや
支店で行っている出張販売などを利
用してありますが、市内産の農産物は
本当に人気がありますね。

組合長 おかげさまで非常に多くの
皆さまにお買い求めいただ
いており
ます。ところで昭先生は、自身の研
究成果はもちろ
ん、科学技術の普及
啓発などに多大な貢献をされたこと
で、一昨年は文化勲章、昨年は川崎
市名誉市民章を受章されました。心



より敬意とお祝いを申しあげます。

昭 ありがとうございます。原
組合長には受章祝賀会にもお越しい
ただき、改めてお礼申しあげます。
これは私一人の力でいただいたもの
ではなく、多くの皆さまに支えられ
たおかげでいただいたものと感謝し
ており、大変光栄に感じております。
組合長 名誉市民には何か特別な任
務はあるのですか。

昭 先般市の条例が制定され、
市の正式な式典や行事に参加するこ
とができることになりました。

組合長 過去には金刺不二太郎元市
長、伊藤三郎元市長、圓錐勝二さん、
岡本太郎さんが受章されています
が、昭先生はおよそ25年ぶり、5人
目ですね。

昭 皆さん偉大な方々ばかりで
恐れ多いのですが、私も名誉市民の
名に恥じぬよう今後もさらに研究に

励んでいきたいと思
います。

組合長 数々の栄誉の基で、昭先
生が研究されている「光触媒」に
ついてお話しただ
いてもよろしい
ですか。

昭 はい。まず「触媒」とは、
そのもの自身は反応の前後で変化し
ないのですが、化学反応を早く進め
る効果がある物質のことです。そし
て光が当たったときに触媒として働
くものが光触媒な
のです。

組合長 なるほど。もう少し詳しく
お話しただけ
ますか。

昭 光触媒反応で主に用いられ
るのは、酸化チタンという物質です。
酸化チタンというあまり聞きなじ
みがないかもしれませんが、白色の
ペンキや顔料、歯みがき粉、ホワイ
トチョコレートなどの原料として身
近なものにも使
われています。

組合長 昭先生はいつ頃から光触媒
の研究をされて
いるのですか。

昭 50年以上前の1967年、
東大の大学院生だったときに光触媒
の現象を発見しました。酸化チタン
電極と白金電極を使って回路を作成
して水中に入れ、光を当てると実験を
していたら、電極に泡が生じたので
す。調べてみると酸化チタンからは
酸素、白金からは水素が発生してい
ることが分かり、非常に驚きました。
組合長 植物の炭酸同化作用にも似
ていますね。



昭 そうです。その現象を見つ
けたときはとても感動しました。水
に光を当てれば酸素が取り出せる。
植物の葉の表面で起こる一番大事な
光合成反応を人工的にまねたことに
気が付きました。

組合長 その研究成果はすぐに認め
られたのですか。

昭 酸化チタンを入れた水に光
(紫外線)を当てること
で、水を分解
できることを学会で初めて発表した
ときは、誰にも信用して
いただけ
ず、水を電気分解する専門家の先生方か
ら「電圧を
かけずに電気分解すること
ができるなんてありえない」と非
難されました。ただ研究室の先輩だ
けは認めて
くれました。

組合長 その後どのようにして認められたのですか。

昭 1972年にイギリスの総合学術雑誌「ネイチャー」に論文を投稿したところ、即採択が決まりそのまま掲載されました。

組合長 それを機に、世界中の科学者が追試、研究を始め、先生の研究成果が立証されたのではないですか。

昭 そうです。それが光触媒では一番有名な論文として、今でも世界中で読まれています。あの論文を引用しながら始まった研究により書かれた論文は、今では2万本以上あるのではないのでしょうか。

組合長 それはすごいですね。ところで、光触媒にはどのような性質があるのですか。

昭 光触媒には水を分解したり、材料表面のどんな有機物も最終的に水と二酸化炭素にまで分解する「強力な酸化分解力」と、材料表面を水になじみやすくしたり、表面に水滴を作らせず、水を薄い膜状に濡れ広げる「超親水性」という性質があります。これら2つの性質を利用して、抗菌・抗ウイルス、防汚、防曇、脱臭、大気浄化、水浄化という分野で応用されています。

組合長 具体的にはどのようなものを使用されていますか。

昭 建築用のタイルや便器の他、車のサイドミラー、駅や競技場

のテント生地、屋根など、さまざまなか分野で応用されています。

組合長 話は変わりますが、錦右先生はいつ日本舞踊を始めたのですか。

とみ子 5、6歳の頃からです。当時は体が弱かったこともあり、両親の勧めで始めました。

組合長 そうですか。ときどき川崎市の行事などで披露されている「三番叟(さんばそう)」は、農業に関わりのある踊りと聞いていますが、どのような踊りなのですか。

とみ子 「三番踏み踏み」と種をまいたり土を踏んだりする仕事をするために床(舞台)を足踏みして大きな音を立てて踊り、五穀豊穡の願いが込められています。私たちは鶴と松の特別な衣装で踊ります。

組合長 錦右先生は中原区文化協会でも活躍されていますね。

とみ子 文化協会はいろいろな先生



方の集まりなのですが、優秀な女性の方が多いです。

組合長 文化活動といえば、踊りやお花、お茶などが一般的ですが、中原区では多様な文化が盛んで、投扇興やエッグアート、チョークアート、千手観音の踊りなどさまざまなことをやっています。それは錦右先生が区内を小まめに回り、実際に見聞きして協会の活動として取り入れられているからですね。

とみ子 JAセレサ川崎の大正琴グループの方々も長年活動をしていただいております。もちろん私一人の力ではなく、多くの皆さまに支えていただいたおかげです。中原区文化協会は昨年50周年を迎え、原組合長には祝賀会の実行委員長も務めていただき、ありがとうございます。

組合長 いえいえ、お役に立てて何よりです。

文化の伝承と後継者の育成

組合長 ところで私は、お二人が携わっていらつしやる科学、日本舞踊はもろろんのこと、私たちJA事業の基礎である農業など、人が生活している「現場または基礎」そのものが文化だと考えています。

昭 たしかにそうかもしれませぬね。

組合長 私たちJAは都市農業の振興に力を入れているわけですが、その農業で培われてきたさまざまな技術や伝統を次代につないでいく後継者不足が全国的に問題となつています。先生ご夫妻がこれまでご活躍されてきた中で、後継者と言いますが研究や技術をつないでいくために心掛けていることはありませんか。

とみ子 私の場合はおかげさまで後継者がありますが、その次の世代がなかなか出ておりません。却って年配のお弟子さんが、真剣に元気で張り切っております。現代は座ることが少なくなり、生活様式も大きく様変わりしていますので、果たして続いていくのか心配です。歌舞伎の世界などだけではなく、一般の方にも興味をもつていただければと思っています。

組合長 今お弟子さんは何人くらいいらつしゃるのですか。

とみ子 今はずいぶん少なくなつてしまいましたが、教え始めてから53年間で、花柳の芸名を名乗ることが出来る名取を35人ほど輩出しました。

組合長 それはすごいですね。実際踊りを教えていく上で苦勞されることなどはありますか。

とみ子 やはり人に教えていくということは、自分も学んでいかなければならないということだと思います。指導することは自分の勉強ですので、日々お弟子さんの稽古に励んでおります。

組合長 教える側も常に学ばなければならぬというのは、本当にその通りですね。

とみ子 福祉施設などでお弟子さんとともに披露することが多いのですが、子どもたちが着物を着てかわいらしく踊ると、とても喜ばれます。また、大人のお弟子さんは施設の入居者の方々と一緒に踊つたりもします。

組合長 私たちもお祭りなど地域の催し物で小さいお子さんを先頭に出して踊らせることが多いのですが、そういうことが後継者の育成につながっているのではないのでしょうか。

昭 おつしゃるとおりだと思います。少し話は変わりますが、七五三問題について存知ですか。

組合長 何のことでしょう。



昭 もちろん皆さん知ってお祝い七五三のことではなく、七は小学5年生で理科が好きの子の割合が70%、中学2年生になると50%、高校2年生になると30%になってしまふということなんです。それを私は八六四にしたいと思つて、理科の好きな子を増やそうと日々励んでいます。

組合長 たしかに理科で習う元素記号や化学式、生物、物理といったイメージになりますよね。

昭 その通りです。私は後継者を育てる上で一番大事なことは、ま

ず理科を好きな子を育てることだと考えています。そのために小学5、6年生から中学、高校まで全国どこへでも足を運んで、科学の面白さを伝える活動「出前授業」をしています。

とみ子 本場に全国各地にでも出向いています。

組合長 月に何回くらい行かれるのですか。

昭 講演や会議を合わせると月にというよりは、週に2、3回は行っています。

組合長 それは忙しいですね。授業ではどのような話をされるのですか。

昭 例えば「アサガオはいつ花を開くのか」「セミの穴はどこにつながるのか」「タンポポは種ができるとなぜ茎が伸びるのか」「ツツジの花びらにある黒い点々は何か」など、自然に関する話が多いです。

組合長 今のお話を聞いてみると、普段私たちが見過ごしてしまうことを昭先生は「なぜだろう」と常に意識されていらつしゃるということですね。そこからのいろいろなものを研究されていらつしゃるんですね。

昭 はい。そうすると面白いですよ。研究というのはそういう感度を鋭くしておかないといけない一種の感度の養成所だと考えています。

「口ウソクを燃やすと中心の口ウは溶けるのに、周りが溶けないのはなぜか」という話など、日常の何気な

いことに興味や関心をもち、その原理や意義を自ら考えたり調べたりすると理科が楽しくなつてきます。

組合長 全国の学校で昭先生からこういう話を聞くと子どもたちは、目を輝かせているのではないですか。

昭 そうなんです。それが私の望みなのです。話を聞く前と後では子どもたちの反応が全く違いますし、最後には驚くほどたくさん質問が出てくるので、私はとてもうれしく大きなやりがいを感じています。

組合長 本場に良い取り組みですね。錦右先生も踊りを通じて子どもたちに日本の文化を伝えてますよね。

とみ子 はい。でも今の教育自体が学業重視で、文化に触れたり学ぶ機会が少なく、日本舞踊のような伝統文化は特に伝えるのが難しいと感じています。ただ、私は「かわさきの民話」を踊りにしております。その中の「背中赤い蟹」は小さな子どもたちが中心の踊りです。このような踊りを老人ホームなどで披露する活動も続けておりまして、地域の方々にも日本舞踊の魅力を伝えられるよう励んでいます。

組合長 それは素晴らしい取り組みですね。JAでも市内の生産者の皆さまにご協力いただき、種まきや田植えから収穫まで一連の農作業を体験したり、収穫した農産物を使った料理教室を開催するなど、さまざま

農業の未来に 明るい光(触媒)

な食農教育に力を入れていきます。今は土に触れる機会がほとんどありません。今で、野菜や果物が育つ過程を見たことがなく、スーパーなどで売っている状態しか知らない子どもたちもたくさんいるのです。

昭 たしかに今は土に触れる機会がほとんどありませんね。

組合長 こうした食農教育を続けていくことで、とれたての野菜の味を知り、野菜嫌いを克服できたなど、うれしい声を聞くことができます。
とみ子 人の根幹を支える食と農の大切さを伝えるJAの食農教育を今後もぜひ続けていってください。

昭 少し話は変わりますが、先ほど話した光触媒の技術は、農業にも応用できるのです。

組合長 それは興味深いですね。
昭 私は畑を持っていませんが、研究所で水耕栽培でレタスを作っています。農家の皆さまが作るような立派なものではないのですが、日持ちが良くおいしいレタスですよ。

組合長 それはいいですね。でも光触媒とどういった関係があるのですか。
昭 水耕栽培では養液の入った水を循環させますが、その水はしば

らくすると取り替えなければなりません。というのは植物の根から成長を抑制するホルモンのような物質が出てしまうからなんです。でも大量の肥料の入った水を捨ててしまってもつたないし環境に良くないですよ。

組合長 たしかにそうですね。

昭 ところが植物の成長に必要な肥料の窒素、リン酸、カリは最終酸化物なのでそれ以上は酸化されず、中に入った成長抑制剤のような成分は、有機物なので分解できるのです。ということは、光触媒の作用により肥料の成分は残しつつ、妨害になっているような成分だけを分解できるので水を取り替える必要がない上に収量が増えることもあります。

組合長 それはいいですね。市内の農業でも取り入れることができれば低コスト化につながります。他に農業に応用できるものはありますか。

昭 酸化チタンの上に野菜の種を載せて光を当て発芽率を上げる研究の他、大手製薬メーカーと協力して光触媒を利用した蚊取り器の製品化も進めています。

組合長 光触媒の蚊取り器なら農業中にも安心して使用できますね。

昭 はい。それから温室に使用するガラスにも光触媒の技術を応用できるように研究を進めています。

組合長 光触媒が農業のさまざまな

分野で利用されるようになれば、低コスト化、品質や収量など生産性の向上につながっていきますね。

昭 皆さまの期待に応えられるよう今後も研究に励んでいきます。

組合長 ご夫妻の今後ますますのご

活躍と昭先生がノーベル賞を受賞されますことを心より期待いたします。本日はありがとうございました。

夫妻 こちらこそありがとうございました。ありがとうございました。

(文責・広報課)



貯金残高とセレサモス来場者数大台を祝う

貯金残高1兆5000億円達成報告会を12月14日、本店で開き、大台達成を祝いました。

J Aの創立当初の貯金残高は6574億円余で、平成17年12月には1兆円の大台を達成。その後も貯金のキャンペーンや年金受給口座の獲得など、個人貯金を中心に残高を積み上げ、待望の1兆5000億円を達成しました。

原修一組合長は「貯金は組合員や地域利用者との絆の証。このつながりを大切にし、さらには次世代との結びつきの輪を広げていきたい」と語りました。ご支援いただいた組合員や利用者へ感謝し、さらに地域に貢献できるよう努めてまいります。



大台達成を祝う役員

また、セレサモス宮前店は同日、オープンから3年2か月で累計来場者数100万人を突破し、達成セレモニーを行いました。当日は、100万人目と前後の来場者に原組合長が花束と記念品を贈りました。

100万人目の来場者となった高津区の白井由紀江さんは「セレサモスには毎週買い物にきている。これからも新鮮でおいしい野菜を買いにきたい」と笑顔で話しました。

また、同店では14日から18日にかけて達成フェアを開催。セレサモスオリジナル商品「モスどら」や提携J Aの特産品などを特別価格で販売し、多くの来場者でにぎわいました。



100万人目の来場者に記念品を渡す原組合長

とれたて野菜で 交流を深める

「あぐりっこ農園」の利用者を対象とした交流会を11月25日から12月9日までの3日間、同園宮前平と五月台、梶ヶ谷で開き、22組75人がとれたての野菜を堪能しながら交流を深めました。

9日には、7組27人が参加。参加者は、それぞれの区画で冬野菜を手際よく収穫しました。

昼食は、農園で収穫したニンジンやネギなどを使った豚汁をみんなで協力して調理。「とれたての野菜を使った料理はおいしい」と笑顔で味わいました。

また、市内農業に関するクイズ大会なども行い、参加者全員が交流を深めながら畑で楽しいひとときを過ごしました。



収穫を楽しむ参加者

親子で一足早い 正月気分を満喫

GoGo!! 田植えレンジャー収穫祭を12月8日、セレサモス宮前店で開き、85人の親子らが参加しました。

会場に集まった参加者は、「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて順番にもちをついた他、足踏み式脱穀機などの操作を体験。昼食はJ A職員が用意した市内産野菜を使った雑煮やあんこもち、きなこもちを味わいました。

午後には、10月に自分たちが刈り取った稲わらでしめ縄作り挑戦。終了後に精米したもち米1・5kgをJ A職員から受け取り、田植えレンジャーを締めくくりました。



「えいっ」と元気良くもちをつく参加者

見て・食べてかわさきそだちを応援

かわさきそだち料理教室を12月6日、モスビーホールで開き、参加者28人が市内産農産物を使った料理に挑戦しました。

当日は、市女性農業担い手の会「あかね会」の会員11人が講師を担当。参加者は、各班に加わった会員の指導を受けながらネギやハクサイなど市内産農産物を使ったおやきや唐揚げなど計5品を調理しました。普段から料理をする人も多く、声を掛け合いながら作業を分担し、手際よく完成させました。

完成後は会員と一緒に食べ、調理のコツや旬の野菜について質問するなど、交流を深めながら市内産農産物を堪能しました。また同日、准組合員を対象と



レシピを確認しながら調理を進める参加者

した「食べて知って地元野菜！かわさきそだち応援バスツアー」を開催し、38人が参加しました。

最初に横浜市の横浜港湾倉庫で、輸入野菜の管理状況を見学。空調設備がないテント内で長期間保管されている現状に、参加者は唖然としていました。

見学後は、川崎市内のレストランで市内産農産物を使ったランチを堪能。中でも、キャベツなど新鮮な野菜を使ったサラダバーが人気を集めていました。

その後、セレサモス宮前店に移動し、安全・安心な市内産農産物の買い物を満喫。参加者は「食の安全性を見直す良い機会になった」と話しました。



担当者から説明を受ける参加者

農水大臣へ市内農業への理解を求め

J Aと田中和徳衆議院議員は12月7日、農林水産省を訪問し、吉川貴盛農水大臣に川崎の農業への一層の理解を求めました。

J Aからは、原修一組合長と池沼稔行常務らが訪問。都市部である川崎の都市農業の現状に合わせ、高い技術で消費者の多様なニーズに応えながら川崎の農業を盛り上げる生産者の取り組みなどを説明しました。

また、原組合長が市内産のイチゴを手渡し、市内産農産物の品質の高さをPR。吉川農水大臣は、「色や形もきれいでとても

素晴らしい。生産者の方には引き続き頑張ってもらいたい」と期待を込めて語りました。



市内産のイチゴを手渡す原組合長ら

農業資材約6トンを臨時回収

台風24号被害に伴う農業資材の臨時回収を12月3日、麻生区の黒川営農団地管理倉庫と高津区のJ A書庫センターで行いました。

環境に配慮した営農活動として、通常9月と3月の年2回廃ビニール・廃プラスチックの回収を行っています。今回は台風の影響によって破損したガラスや木材を含む農業用資材を臨時で回収。処理費用についてはJ Aが助成を行いました。

2か所で合わせて5994kgを回収し、専門の処理業者に委託して適正に処理しました。



回収した農業資材を計量する職員

食と農の大切さを学ぶ



サポーターにダイコンを手渡す選手

川崎フロンターレU-13の選手が12月1日、中原区の等々力陸上競技場前でカブや聖護院ダイコンなど約1000本を販売しました。

カブやダイコンは麻生区の畑で選手が自ら9月に種をまいて育ててきたもの。栽培から収穫までの一連の流れを、JA職員がサポートしました。4回にわたる食農教育の集大成として、当日の朝収穫した新鮮なカブやダイコンを販売し、約2時間で売り切りました。

選手は「農業には関心がなかったけど、野菜を育てる大変さを実感した。完売してほっとした」と笑顔を見せました。



ハクサイを収穫する親子

また、15日には麻生区の麻生市民館で、同区と東京ガス(株)川崎支店とともに「あさおの地産地消エコ・クッキング」を開き、小学生の親子11組22人が参加しました。

当日は、市民館から15分ほど歩いた場所にある畑に移動し、親子で協力しながら鎌を使い、ハクサイを収穫。その後、市民館の料理室で市内産のダイコンなどを無駄なく使って、クリスマスツリーピラフなど3品を完成させました。

保護者からは「楽しく料理ができ、勉強にもなった。また子どもと参加したい」と好評でした。

家族の支えに感謝し 新たな生きがい作り



活動体験を発表する本多さん

平成30年度生活文化活動体験発表会・県家の光大会が12月12日、JAグループ神奈川ビルで開かれ、県内の女性部員や役員220人が参加しました。

当日は女性部活動を通じた体験などを県内JAの女性部員10人が発表。当JAからは、向丘支部の本多智恵子さんが出場しました。

本多さんは、6年前に夫を亡くし、憔悴した自分を支えてくれた家族への感謝と、生きがいとして参加した女性部の活動内容について発表。惜しくも県代表の座は逃しましたが、会場からは大きな拍手が送られました。また大会の席上、加賀見照子副部長が『家の光』など2部門の普及表彰を受けました。

良質なブドウへ 管理方法を学ぶ



剪定や誘引について学ぶ参加者

果樹部は12月10日、市農業技術支援センターで、ブドウ冬季管理講習会を開き、同部員ら17人が参加しました。

当日は、県農業技術センター横浜川崎地区事務所青木隆氏が講師を務め、冬季の剪定や管理方法について説明しました。その後、同センターにある巨峰の木を使って枝の剪定と誘引を実演。「誘引は、主枝に近い枝ほど戻して」などとアドバイスしました。

参加者は、「実際に木を使い指導してくれるので、イメージが浮かびやすい。良質なブドウの栽培に向け、冬の管理を頑張りたい」と意欲を語りました。

新商品スパークリングワインを贈呈

柿生禅寺丸柿保存会は12月21日、神奈川県庁と川崎市役所、JAを訪れ、2018年産の禅寺丸柿ワインと禅寺丸柿スパークリングワインを贈り、出来栄を披露しました。

同保存会は、日本最古の甘柿といわれている禅寺丸柿の付加価値を高めようと1998年から柿ワインを販売し、毎年好評を博しています。今季はより付加価値を高めようと通常のワインに加え、スパークリングワインにも挑戦。昨年は猛暑や台風による影響が懸念されましたが、すつきりとして飲みやすい味に仕上がりました。

贈呈当日は、飯草康男会長、宇津木裕副会長、長瀬敏之副会



黒岩県知事へスパークリングワインを贈呈する飯草会長ら

長が訪問。「今回新たに醸造したスパークリングワインは香りも味も良いので、皆さんで味わってほしい」と黒岩祐治県知事に手渡ししました。

今回のスパークリングワインのラベルと箱のデザインは、和光大学の安井萌々香さんによるもので、歴史を感じてもらえるよう着物を着た女性の横顔を描き、『和』を意識したデザインになっています。

今回は約4200本のワインと約3100本のスパークリングワインを醸造。ワインは12月19日から販売しており、スパークリングワインは1月29日からセレサモスなどで販売する予定です。ぜひご賞味ください。



完成したスパークリングワインとワインをPR

日本の政治を学ぶ

平成30年度総代研修会を12月6日、本店で行い、総代やJA役員361人が参加しました。

研修会では、国際政治学者の三浦瑠麗氏が「第二次以降安倍政権を中間総括する」と題し講演。5年以上の長期政権となる同政権が、積極性と消極性のバランスをコントロールして選挙に勝ち続ける戦略を力説しました。

最後に自己改革に取り組みJAに対し「JAは相互扶助の組織だが、切磋琢磨しながら組織の存在感を高めていくことが大事」とエールを送りました。

心地よい音色で演奏を楽しむ

助け合い組織「多摩の会」のハッピーベルグループは12月12日、生田支店で、同日に開いたセレササロンの参加者らにハインドベルの演奏を披露しました。

当日は、同グループのメンバーら12人がトーンチャイムやミュージックベルを使い分けて「シングルベル」など6曲を演奏。参加者は、演奏に合わせて口ずさむなど、会員が奏でる心地良い音色に聴き入りました。



トーンチャイムを体験する参加者

演奏の途中には参加者もベルを持ち、メンバーの手ほどきを受けながら演奏を楽しみました。



安倍政権の戦略について説明する三浦氏

参加者は、三浦氏の話に熱心に耳を傾け、労働生産性などの課題を抱える今後の日本の在り方について理解を深めました。

川崎探検隊

井田周辺～ 木月を歩く

地域住民に親しまれる名店を巡る



井田杉山町・井田三舞町

中原区の南西部に位置し、一帯は井田へと続く低地になっている。昭和60年頃までは水田も残っていたが、現在は住宅やマンションが多く立ち並ぶ。

木月

中原区の南部に位置し、南側には矢上川が流れている。東西に商店街のある商業地となっている他、綱島街道と尻手黒川道路が交差している。



今回はJR南武線武蔵中原駅からバスに乗り、「下小田中」停留所で下車し、街歩きへ出発します。バスを降りて歩き進むと、人が集まる直売所を発見！のぞいてみると、たくさん野菜や果物が並んでいました。季節の野菜を楽しみ、直売所を後にして街歩きを再開します。すると、青色の可愛らしいお店に着きました。店内には、焼きたてのおいしいそうなパンなどがずらりと自家製カスタードとチョコレートを混ぜ込んだチョコクリームパンを購入しました。店を出てしばらく住宅地を歩き進むと、「持経寺」に到着。住職に話を伺うと、月例寺院行事の中で最も大切にしている「御報恩御講」には、毎回多くの方が参加

するそうです。次はどこに行こうかなと考えていると、散歩中の方から「神奈川県で1位になった豆腐が売ってる店があるよ」と教えてくれたので、早速向かってみます。再び住宅地を少し歩いていくと、豆腐屋を見つけました。店内には賞状も飾られており、店一番人気の絹ごし豆腐を購入しました。店を後にし、街歩きを続けると、「お弁当ののぼり旗が！店内をのぞくと、笑顔が素敵な店主が明るく出迎えてくれました。こちらでは手作りの惣菜や揚げ物が並び、弁当は注文を受けてから作るそうです。店主のご好意で揚げたてのコロッケをいただいたところで、今回の街歩きは終了。地域住民に親しまれる場所を訪ね、人々の優しさに触れた一日となりました。



5 月岡惣菜店



「安い！おいしい」とお客さんから大人気の惣菜店。約50種類の惣菜や揚げ物、お弁当を販売し、45年以上変わらぬ味を守り続けています

所 中原区木月4-16-1 営 9:00～19:00 休 日曜日

豊富な品ぞろえ



一度にあまり多く作らず、少しずつ店頭で並べています。コロッケやメンチなどの揚げ物は希望があればその場で揚げたてを提供しています

15種類ほどある中で一番人気のからあげ弁当。子どもから大人まで幅広い世代からおいしいと好評です



人気 No.1 のお弁当

2 アレット



「自分の食べたい物を作る」をモットーに2007年9月にオープンしました。老若男女問わず地域住民を中心に親しまれ、朝から多くの来店客でにぎわっています



店内に並ぶ約60種類のパンなどは店主が生地から手作りしています。無添加や国産小麦粉にこだわり、ふんわりもちもちのパンは、特に女性や子どもに大人気です



店主おすすめ

自家製のカスタードとカカオ65%のチョコレート混ぜ込んだクリームが入っている「チョコクリームパン」(手前)と店一番人気の「メロンパン」(左後ろ)、サクサクで止まらないおいしさの「テーブルロールのラスク」(右後ろ)

所 中原区井田三舞町6-8
営 10:00~19:00
休 日曜日・第2月曜日

1 長瀬グリーンファーム



「季節ごとの旬の野菜を楽しんでもらいたい」との思いで、年間約50品目の農産物を販売しています。地元に限った直売所で、お客さんからは「安くておいしい」と好評です。これからの時期はハクサイやカブ、ミズナが店頭に並びます

人気の新鮮野菜



夏はトマトやナス、キュウリ、冬はサトイモ、ネギ、ブロッコリーなどの野菜が人気です

所 中原区井田杉山町4-23
営 10:00~11:30、15:00~17:00
休 雨天休み

おいしそう



3 持経寺



昭和41年12月に総本山第66世・日達上人猊下により建立されました。以来、歴代住職の篤き道念と所属檀信徒の外護により、寺門の護持興隆がはかられてきました。現在は、2,400名を超える檀信徒が信仰に励み、今後のさらなる発展を期して活動しています。毎月1日には「一日詣り」、13日には「御報恩題目講」が行われる他、「御会式」や「盂蘭盆会」など年間を通してさまざまな行事が行われています

所 中原区木月3-35-12

4 越路屋とうふ店



創業50年以上の地元の方から愛されている豆腐屋。店内で販売されている約30種類の豆腐や油揚げはすべて手づくりです。こちらの豆腐はセレスモス宮前店でも販売しています

所 中原区木月4-16-50 **営** 10:00~19:00
休 日曜日



手作りの品々

朝作ったものが店頭に並んでいます。まるやかでコクのある豆腐はお客さんからおいしいと好評です。店主おすすめの食べ方は「豆腐に薬味もなにもせず、塩をかけて食べる」だそうです



「神奈川県うまい豆腐コンテスト(2005)」で豆腐マイスターおおよそ30名の厳正な審査により、絹ごし豆腐部門など2部門で見事に1位に輝きました

コンテスト1位!



私の好きなこと

オンリーワンの 作品づくり



パッチワークを始めたのは、20年ほど前。さまざまな色や模様の布を複雑に縫い合わせて作るデザインの華やかさと細かさに惹かれたことがきっかけでした。

これまで手掛けた作品は、バッグやポーチなど1000点以上。オリジナリティーを出す上で重要な生地選びでは、厚みや色彩が異なる布を1枚1枚吟味します。数日かかることもあります。完成後の姿を想像するのが楽しく、後の作業への意欲が湧いてきます。

裁縫は、ミリ単位で縫うなど細かい工程が多く、1つでも失敗や



妥協することがないよう心を落ち着かせてから縫い始めます。また、所々鏡を使いながら通常の目線では見えない部分も修正するなど細部にまでこだわり、質の高い作品作りに励んでいます。

完成までに2年以上かかるものもありますが、手作りならではの温もりのある作品は、展示会に出品する他、家族や友人にプレゼントし大好評。愛用してくれている姿を見るとうれしくなり、大きなやりがいを感じています。

これからも、1針ごとに気持ちを込めて作品を作っていきます。

PROFILE

川崎区大島
吉澤 としえさん

パッチワークの他、コーラスやアートフラワーなど趣味は多彩。特に10年以上続けているコーラスは、年1回の発表会に向けて毎週2時間練習に励んでいます。



ひゅうまん HUMAN



暮らしやすい街づくりに貢献

麻生区上麻生 鈴木錠さん

50年以上前、父が市内で先駆けて地元保育園を設立。父が高齢になったこともあり、地域住民が安心して暮らせるよう自分も力になりたいと思い、40年ほど前に役所勤めを辞めて経営に携わるようになりました。

経営するだけでなく、現場のことも理解を深めたいとの考えから、小まめな園内巡回を実施。保育についての知識とともに、より良い雰囲気づくりなどに努めてきました。「おはよう」「また明日ね」などと積極的な園児へのあいさつの他、「困ったことがあったら相談して」などと職員にも声を掛け、日頃の頑張りに応えられるよう尽力。誰もが自分の子どもや孫を入れたいと思えるような、全ての人のとって居心地が良く明るい園に向け、力を入れてきました。

園では、演劇や歌などを披露す

る保育発表会や運動会などさまざまなイベントを開催。何度も練習を重ね、楽しみながらも力いっぱい走り回る姿や演技を見ては、自分子どもや孫のように微笑ましく心が温かくなります。また、見送った卒園生が職員として来てくれることも多く、幼い頃の貴重な一瞬とともに過ごし、成長した姿で再会できることに、大きな喜びとやりがいを感じています。

30年ほど前には、人口の増加などから先を見据えて特別養護老人ホームを設立。現在は他地区にも施設を構え、地域の人が生まれ育った地元で元気に過ごしてもらえよう、利用者に寄り添ったケアを心掛けています。

これからも、子どもの成長をはじめ、利用者の生きがいづくりや暮らしを見守る地域に根ざした施設を目指していきます。

日々の農作業を

全力サポート

高津区久末

森恵美子さん

結婚を機に農業を手伝い始めて17年。150坪ほどの畑と温室では、家族4人でトマトやダイコンなど年間約50品目栽培しています。

義父と夫が立てた作付け計画に沿って、義母と一緒に種まきや定植、収穫、荷造りなど一連の作業をサポート。中でも冬場の水作業は、あかぎれや手の感覚がなくなるなど辛いことも多いですが、家族で丹精して育てた野菜をたくさんのお客さんに届けたいと、手を抜くことなく励んでいます。

水洗いが終わった後は、傷をつけないよう丁寧に袋詰めし、夫と一緒に近隣のスーパーに出荷。売り場で自分のコーナーが空っぽになっていく状況を見て、自分たちの作った野菜が選ばれていることがうれしく、大きなやりがいを感じています。

5年ほど前には、地域の人たちに気軽に野菜を買いに来てほしいとの思いから自販機を設置。ピーマンな

どの小さい野菜はお客さんが見やすいように立てて置き、ハクサイなどの重くて大きい野菜は取りやすいように中段に置くなど配慮しています。繁忙期は1時間に3回補充が必要になるほど大盛況。売り切れに気付かない時でも自販機から見えない作業場に来て「トマトある」とお客さんから気軽に声を掛けてもらえるなど、自農園の直売が地域に根付いていることを実感しています。

一昨年の春から、夫が小学校のPTAの役員を引き受け、今まで以上に忙しくなりましたが、夫の負担を減らそうと、荷造りを全面的に引き受けるなど、少しでもフォローできるように心掛けています。

農業に携わる楽しさを教えてくれた義父と義母、夫に感謝するとともに、今後はより力になれるよう農業に励み、自農園の野菜を多くのお客さんに届けていきます。

Power's Voice

畑仕事で忙しい毎日をお過ごしですが、作業の合間を縫って家族でドライブに出掛けます。あまり遠くまで行けませんが、横浜駅周辺などで買い物やおいしいものを食べてリフレッシュしています。





キャベツ

アブラナ科アブラナ属で原産地はヨーロッパ。日本へは江戸時代に伝わり、明治時代に入ってから本格的に栽培されるようになったといわれています。

キャベツは、紫キャベツや芽キャベツ、グリーンキャベツなど見た目も味も異なるたくさん種類があります。

保存の際は、芯をくり抜いて濡らしたキッチンペーパーを詰めておくことで鮮度を保つことができます。カットしてある場合、断面が盛り上がっているものはカットしてから時間が経っている証拠です。



キャベツのミルクスープ



材料(2人分)

- キャベツ……………1/8個
- タマネギ……………1/4個
- シメジ……………50g
- ニンニク……………1/2片
- ベーコン……………1枚
- 牛乳……………300ml
- 水……………100ml
- ブイヨン(粉末)…4g
- オリーブオイル…適量
- 塩、コショウ…適量

作り方

- ①キャベツはざく切り、タマネギは薄切り、シメジは石づきを取ってほぐし、ニンニクはみじん切り、ベーコンは5mm幅に切る。
- ②鍋にオリーブオイルを熱し、ニンニクとベーコン、タマネギを炒め、キャベツとシメジを加えてさっと炒める。
- ③牛乳と水、ブイヨンを加えて煮立ったら、塩、コショウで味を調整してできあがり。

キャベツは、煮る、焼く、生食するなどさまざまな調理方法でおいしさを楽しめます。いろいろな種類があり、北海道から沖縄まで幅広い地域で栽培されています。季節ごとに味や性質が微妙に変化するのも魅力のひとつです。

キャベツは通年市場に出回っていますが、1〜3月頃に多く出回る寒玉と呼ばれる「冬キャベツ」は、葉がため、加熱しても煮崩れしにくいのが特徴。寒さや霜に当たると甘みが増します。3〜5月頃に多く出回るものは「春キャベツ」と呼ばれ、葉がやわらかくて甘みがあり、生食に適しています。

キャベツには、胃潰瘍の予防や改善に有効なビタミンUが豊富に含まれています。ビタミンUは、キャベツから発見されたため、「キャベジン」とも呼ばれています。ビタミンUは、葉よりも芯、内側の葉になるほど含まれる量が多くなるといわれています。美肌づくりに役立つビタミンCや健康な骨の形成に役立つビタミンKも豊富に含まれています。

購入の際は、ハリとツヤがあり、色鮮やかな緑色のものを選びましょう。冬キャベツは、巻きがしっかりといてずつしりと重みがあるもの、春キャベツは巻きがゆるくて軽いものがおおすすめです。



果樹の間伐(間引き)で生産性の向上



営農技術顧問 片木 新作

冬から春先は果樹の剪定時期ですが、カキやカンキツ、ウメなど多くの果樹で年々の生長に伴って木が混み合い、密植状態になった園が見受けられます。間伐や縮伐で木の間隔を空けましょう。特に園内に枯れ枝が多いのは光不足の証拠です。剪定や間伐をしっかりとって良い果実を生産しましょう。

苗木を密に植えることは若い時期の収量が多いという利点がありますが、生長に従って過剰な密植状態になり、次のような弊害が多発します。

- ・果樹は樹種や樹齢によって適正な大きさがあり、無理に小さく維持しようとして切ると、徒長枝が多く発生し生産量や果実品質が低下する。
- ・混み合った同じ部分を毎年切ると着花結実ににくい。
- ・木の側面に日照が不十分だと良い果実が得られず、収量と品質が低下する。
- ・結果位置が天井部分のみになって収穫その他、作業性が悪い。
- ・通風や日照が悪く、降雨後の乾燥も遅れるため病害虫が発生しやすい。
- ・薬剤散布が十分にできない。

計画的な間伐

- ・密植状態の園は木に優先順位をつけて、ずっと残す「永久樹」と間引く対象の「間伐樹」を決めて間引きます。1本おきの伐採が一般的で、園地条件などに合わせて判断しますが、思い切って実施した方が良い結果が得られます。
- ・元から切って、どうしても空きすぎてしまう場合は、永久樹の邪魔をする間伐樹の太枝を十分に切り詰め(縮伐)数年計画で必ず元から伐採します。

カットバック剪定

間伐とは異なりますが、生長し樹高が高くなった木を地上数十cmから1m程度の太い部分で切断し、新しく発生した枝を利用するカットバック剪定も密植の解消には有効です。カットバック剪定とは、切り口には保護剤を塗り、多数発生する枝の何本かを伸ばして数年後には低い位置での果実生産をするものです。クリで行われており、樹勢の強い一部のカンキツでも可能との情報があります。



間伐が必要なミカンの密植園

※ JA では、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物をお持ちいただくと助かります。開催日は22ページをご参照ください。

農協改革

大きな転換点を迎える2019年。

今年も「地域になくはならないJA」として、

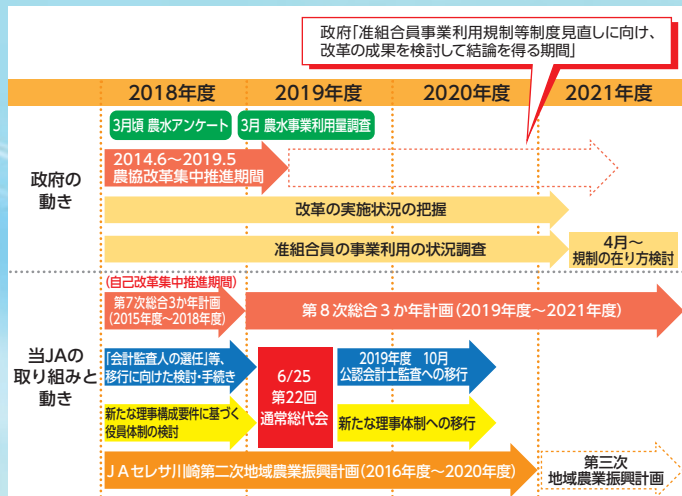
「自己改革」を展開し続けます。

2019年がスタートしました。本年は5月末に政府が設定する「農協改革集中推進期間」が終了することに伴い、JAグループにとって大きな転換点を迎える年になります。

当JAでも改正農協法に明記された新たな理事構成要件に基づく新役員体制への移行や、公認会計士監査への移行に対しては、円滑な移行をはかるために現在も着々と準備を進めており、6月に開催する第22回通常総代会では関連議案を上げます。

また、3月初旬頃には全国の各JAの「自己改革」の取り組みに対する評価を確認すべく、管内の一部の担い手農業者の皆さまには、農林水産省から「農協の自己改革に関するアンケート調査」が依頼されることが想定されます。このアンケート調査の結果は、集中推進期間終了直前の調査となるため、政府が「農協改革・自己改革」の成否を最終的に確認するための極めて重要な評価・判断要素となります。JAを取り巻く情勢は刻々と動いてい

るわけですが、当JAはこうした動きに対応するためにさまざまな取り組みを積み重ねてきました。つきましては、組合員の皆さまには本年も当JAに対して力強いご支援を賜りますようお願いいたします。



2月の運勢

モナ・カサンドラ

- ♈ おひつじ座** 3/21~4/19

【全体運】いつもとちょっと違う行動がスパイスになって、日々の生活が活気づく予感。新しい趣味を持つのも良い刺激に

【健康運】小さなけがに気を付けて。慎重さが大事

【幸運の食べ物】ワラビ
- ♉ おうし座** 4/20~5/20

【全体運】不得意なことをやらねばならず、苦戦するかも。肩の力を抜き、気楽に構えて。助言には謙虚に耳を傾けると◎

【健康運】免疫力を高める工夫を。寝不足は避けて

【幸運の食べ物】キャベツ
- ♊ ふたご座** 5/21~6/21

【全体運】アクティブに動き回れそう。やってみたいことがあれば、意欲的にチャレンジしてみて。講演会にも注目を

【健康運】冷え対策を万全に。軽いマッサージが吉

【幸運の食べ物】のり
- ♋ かに座** 6/22~7/22

【全体運】物事を悪い方向に受け取りやすい傾向あり。意識してプラスに捉えて。気晴らしには神社や仏閣巡りがお勧め

【健康運】不調を感じたら、十分な休息を心掛けて

【幸運の食べ物】アサリ
- ♌ しし座** 7/23~8/22

【全体運】気分が変わりやすい時期です。気まぐれになり、対人面でもめないよう、ご用心。芸術鑑賞をすると開運効果が

【健康運】適度に体を動かして、ストレス解消

【幸運の食べ物】ハッサク
- ♍ おとめ座** 8/23~9/22

【全体運】受け身になり過ぎて、チャンスを逃す暗示。ただ、必要以上にしゃべると争いを招く原因に。バランスが重要

【健康運】次第に上昇する兆し。まめな運動が有効

【幸運の食べ物】ジュンギク
- ♎ てんびん座** 9/23~10/23

【全体運】自己表現力が高まりそう。うまく長所をアピールでき、周囲から慕われるはず。クリエイティブな活動にもつき

【健康運】無理は禁物。生活リズムを整えましょう

【幸運の食べ物】フキのとう
- ♏ さそり座** 10/24~11/22

【全体運】気力が低下しやすい。面倒なことを先延ばして、もっと運を落とす結果に。感謝の心を出すと運氣好転へ

【健康運】疲れをため込みがち。良質な眠りが必要

【幸運の食べ物】不知火(デコボン)
- ♐ いて座** 11/23~12/21

【全体運】人脈を広げられそう。同じ嗜好(しこう)を持つ仲間たちとの交流も刺激大。集まりには気軽に顔を出して

【健康運】体力増強に力を入れると好調キープ可能

【幸運の食べ物】レンコン
- ♑ やぎ座** 12/22~1/19

【全体運】地道なルーティンワークもきっちりこなせる月。持ち前の忍耐力を発揮できそう。気分転換には静かな音楽を

【健康運】徐々に回復。スポーツに関心が向くはず

【幸運の食べ物】シラウオ
- ♒ みずがめ座** 1/20~2/18

【全体運】幸運期。未体験ジャンルに飛び込むと、グンと視野を広げられます。注目度が増すので、自己アピールも大成功

【健康運】行動的になれるそう。体力に良い影響あり

【幸運の食べ物】ユリ根
- ♓ うお座** 2/19~3/20

【全体運】いろいろ考え過ぎてしまうもよう。鏡の前で笑顔を作り、気分を上向かせましょう。リラックスには足湯がベスト

【健康運】評判の健康食材を試す好機。手応え十分

【幸運の食べ物】イイダコ



大にぎわいの農業まつり

いつも楽しく拝読しています。11月18日に開催された農業まつりに行きまして、新鮮なダイコンやハクサイ、柿などを購入しました。どれもおいしかったです。また来年も楽しみにしています。

(川崎区・陶山さん)



懐かしい思い出

娘がまだ幼い頃、おんぶをして柿生に禅寺丸柿を取獲しに行ったことがありますが、禅寺丸柿は小ぶりですが、味が濃くて大好きです。

(高津区・鳥井さん)

もっと知りたい!

工業地帯のイメージが多い川崎でも、農業が盛んであったということも機関誌の記事で知りました。時代の違いも分かり、とても興味深かったです。農業形態や経営の仕方などもどんどん進化していく中で、今どんなものがあるのか気になります。

(多摩区・山田さん)

秋を感じる風景

菅仙谷の生田スタジオ前のイチヨウ並木がきれいでした。

(麻生区・梅沢さん)



人形供養祭に感謝

人形供養祭に行き、人形などを納め供養しました。羽子板なども供養してもらえると聞いたので、次回持っていきたいと思います。ありがとうございました。

(中原区・山形さん)

楽しみにしています

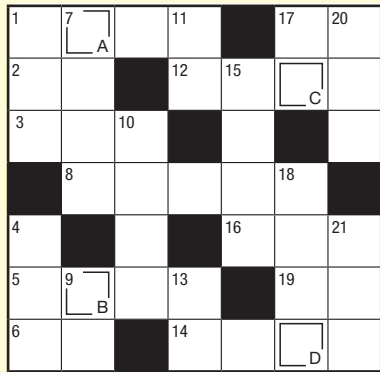
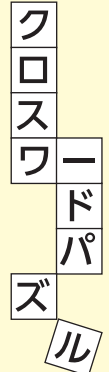
特集の記事を読みとても勉強になりました。第一弾を楽しみにしています。その時は「馬絹」を取り上げてほしいと思います。

(宮前区・石原さん)

投稿のお礼

たくさんのお便りありがとうございました。これからもご感想お待ちしております。

(JA広報課)



11月のたえ

トシワスレ

応募総数34通
当選者5人の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



タテのカギ

- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくこと
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3・14159……と続く円周率
- ⑮ 道端のこと。〇〇駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作『〇〇夜叉』
- ⑳ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ㉒ マンションの〇〇人さんにあいさつをして出掛けた



ヨコのカギ

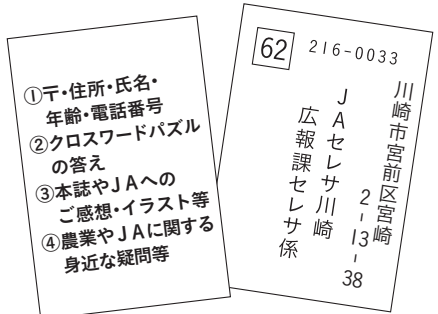
- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立! 〇〇! 着席!
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた〇〇幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ



◆ 応募方法 ◆

このコーナーでは、身近な出来事など、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクロスワードパズルにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に、セレサモス等で使える農協全国商品券1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、郵便番号、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。なお、写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。
※匿名を希望される場合は、必ずペンネームをお書き添えください。
※個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 2月18日(月) 必着



お寄せ頂いたご感想、イラスト等は本誌で掲載することがあります。

セレスサービス(株)のホームページをご活用ください

セレスサービス(株)は、公式ホームページを大幅に見直し、携帯端末からも閲覧しやすく、一層利用しやすい内容に一新しました。お見積もりシミュレーションは、祭壇や料理・引出物を選んでいただく和葬儀の概算金額が分かります。イベントなどの情報発信にも努めてまいりますので、ぜひご活用ください。



Aコープ商品と市内産農産物をPR

大師支店は12月10日、店舗活性化活動の一環として、Aコープ商品と市内産農産物の良さを知ってもらう店頭試飲・即売会と農産物の直売会を開きました。

当日は、JA職員がAコープ商品の良さなどを説明。リンゴジュースの飲み比べなどを行い、来店者が次々と買い求めていました。

また、農産物直売会もとれたての農産物を手にする来店者で大いににぎわいました。



Aコープ商品を買求める来場者

果樹栽培講習会開催のお知らせ

【開催日時】2月14日(木) 9:30～ミカン
13:30～キウイフルーツ、クリ
2月15日(金) 9:30～カキ
13:30～ブルーベリー、ウメ

【内容】整枝剪定、病虫害防除など
【場所】川崎市農業技術支援センター
多摩区菅仙谷3-17-1

参加費無料、現地集合・現地解散となります。
参加ご希望の方は、2月1日(金)までにJA営農指導課
(TEL 044-877-2114)へお申込みください。

スポーツを通じて親睦を深める

JA柿生地区は11月30日、麻生水処理センターあさおふれあいの丘で、柿生地区ゲートボール・グラウンドゴルフ大会を開きました。

当日は、JAの年金受給者や地域の愛好クラブのメンバーら110人が参加。両競技とも白熱した試合展開を繰り広げながら心地よい汗を流しました。

参加者は「ナイスショット」などと声を掛け合い、和気あいあいとプレーを楽しみながら日頃の練習の成果を発揮しました。



プレーを楽しむ参加者

生活総合展示会が盛況

第7回生活総合展示会「セレス得する市」を12月19日と20日、本店で開き、約450人の来場者でにぎわいました。

会場には、米やみそ、神奈川県内外の特産品、農作業用品などが所狭しと並び、来場者は試食などをしながら気に入った商品を買求め、「種類が豊富で安くてうれしい」と笑顔で買い物を楽しんでいました。



買い物を楽しむ来場者

本誌12月号(No.255)記載内容の訂正とお詫び

本誌12月号13頁「川崎探検隊」の記事の中で、①菅生神社の説明文(社殿の再建年月)に誤りがございました。

お詫びして下記の通り訂正いたします。

〈正誤表〉

誤	昭和40年10月
正	昭和4年10月

教えてJA!

Q&A 広場

農業やJAに関する
身近な疑問等をお寄せください



ありがとう。
早速問合せさせていただきます。



Q

ミカンやカキの木を植えて数年経つのですが、なかなか実がつかず困っています。JAでは研修や講習会などを行っているのでしょうか。

A

JAでは組合員の栽培技術・知識向上を目的に、夏と冬の年2回、営農技術顧問による果樹栽培講習会を実施しております。基本内容としては、ミカンやカキを主軸とし、肥培管理や整枝剪定、病虫害防除などです。なお、講習会に参加される方については事前抽選を行いますので、詳しくは支部回覧やホームページをご覧ください。次回は、2月14日(木) 9:30～ミカン、13:30～キウイフルーツ・クリ 2月15日(金) 9:30～カキ、13:30～ブルーベリー・ウメの講習会を行いますので、ぜひご利用ください。



【報告事項】

今後実施すること

- 平成30年第2回総代・組織リーダー研修会
 - 日程：平成31年2月15日(金) 15時～
 - 場所：セレサホール飛翔
 - 目的：総代・各組織リーダーの資質の向上と協同活動への積極的な参加をはかる
- 川崎市の「担い手農業者」の皆さまとの意見交換会
 - 日程：平成31年2月8日(金) 17時～
 - 場所：ホテルKSP 3階「光の間」
 - 内容：第一部 情勢報告および意見交換会
第二部 懇親会および担い手農業者間の情報交換会
 - 目的：「自己改革」の取り組み状況などの情勢報告や担い手農業者間の情報共有の場の提供をはかる

- 2019農業機械展示予約会
 - 日程：平成31年2月1日(金)、2日(土) 9時～15時30分
 - 場所：全農神奈川県本部 田村事務所
※1日は、セレサモス麻生店・宮前店よりマイクروبスによる送迎を行います
 - 内容：新車・中古農機展示会、ミニ講習会他
※中古農機については入札方式での販売
2/2(土)受付9時30分～11時30分 発表12時
 - お問合せ先：経済部購買統括センター推進課

他14項目を報告

【協議事項】

12項目を協議決定

セレサのDATA (12月31日現在)

購買品供給高	8億 26百万円
販売品取扱高	10億 30百万円
施設事業契約高	84億 21百万円
貯金	1兆 5,200億円
貸出金	5,404億円
長期共済保有高	1兆 6,811億円
年金共済保有高	345億円
組合員数	67,949人
うち正組合員	5,446人
准組合員	62,503人

2月のセレササロン

- 7日(木) 中原支店
 - 内容 リボンのミニトレー
 - 会費 1,000円
 - 20日(水) 生田支店
 - 内容 ハンドクリーム作り
 - 会費 1,100円
- ★高津会場は生きがい活動になります。
- 対 象 おおむね60歳以上の方
- お問合せ・お申込み
本店生活福祉課(TEL 044-877-2509)

2月の営農相談コーナー

- 経済センター店
(宮前区有馬2-13-1)
1日(金)、6日(水)、13日(水)、
20日(水)、22日(金)
- 資材店舗パーシモン
(麻生区片平2-30-15)
7日(木)、12日(火)、14日(木)、
19日(火)、26日(火)
- 時間 9:00～16:00
- 相談員 JAの営農技術顧問
- その他 予約は不要です。

営業時間のご案内

- 支店窓口 平日9:00～15:00
 - ATM 8:00～21:00
(セレサモス麻生店は営業時間内の稼働)
 - 経済センター店
平日・土日9:00～16:30※祝日は休み
 - 資材店舗パーシモン
平日・土日9:00～16:30※祝日は休み
 - セレサモス麻生店
10:00～17:00
 - セレサモス宮前店
10:00～18:00
- ※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。
(定休日：水曜・年末年始他)

2月の休日住宅ローン相談会

- 23日(土) 大師支店、元住吉支店、
宿原支店、東柿生支店
 - 24日(日) 小向支店、中原支店、
高津支店、向丘支店、
百合丘支店、栗平支店
- 開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。
ご予約がない方はお待ちいただくことが
ございます。
※時間は 9:00～15:00

2月の年金無料相談会

- 3日(日) 鷺沼支店
- 5日(火) 長沢支店
- 7日(木) 元住吉支店
- 12日(火) 宮前平支店
- 14日(木) 久地駅前支店
- 17日(日) 向丘支店
- 19日(火) 菅生支店
- 21日(木) 生田支店
- 24日(日) 菅支店
- 26日(火) 柿生支店
- 28日(木) 宮前支店

開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。

2月の経営相談会(法律経営)

- 5日(火) 9:30～11:30向丘支店
13:30～15:30中原支店
 - 12日(火) 13:30～15:30みなみ支店
 - 19日(火) 9:30～11:30橘支店
13:30～15:30中原支店
 - 23日(土) 9:30～11:30梶ヶ谷ビル
 - 26日(火) 13:30～15:30稲田支店
- 相談時間は原則30分程度。予約制。
ご予約は相談会の前営業日16:00までに
各会場支店の総合相談担当まで。
(梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで)
土曜日の相談会については、ご予約が
ない場合は開催いたしません。

セレササービスのご案内

JAセレサ葬祭センターは、ご葬儀ご
法事など、信頼と安心・安全をモットー
にまごころを込めてご奉仕いたします。
提携式場として、「中野島ほうさい殿」
も、ご利用いただけます。
事前相談や見積もり等承っております。
お気軽にお問合せください。
(日・祭日除く 9:00～17:00)
フリーダイヤルみおくる ところ
0120-3096-56
危険のご連絡は 24時間・年中無休
<http://www.ceresa-service.jp>

2月の遺言信託個別相談会

2月の開催はございませんが、ご希望
の方は日程を調整のうえ、個別相談を
行いますので、お気軽にお近くの支店
までお問合せください。
※ JA神奈川県信連 信託代理店
JAセレサ川崎 本店金融推進部
(TEL 044-877-2140)
当JAが行う遺言信託代理業務は契約
締結の媒介です。





碓井 清司さん



- ①麻生区下麻生
- ②麻生店
- ③ハクサイ・ダイコン・カブなど

出荷者のコメント

15年ほど前に就農し、約20品目の定番野菜を栽培しています。農薬もできるだけ使わず、品目を絞ることでしっかりと栽培管理を行い、品質の高い野菜に仕上げています。1月からはハクサイやダイコンがおすすすめです。ぜひご賞味ください。

本多 茂基さん
(本多 武司さん)



- ①高津区上作延
- ②麻生店・宮前店
- ③ダイコン・キャベツ・ブロッコリーなど

出荷者のコメント

年間20品目以上の野菜と果物を栽培しています。消費者に旬の農産物を長期間味わってもらうため、早生や晩生など1品目3品種ほど手掛ける他、毎年新しい品種を取り入れるようにしています。とれたて新鮮な農産物をぜひ手に取ってください。

鈴木 敏夫さん



- ①宮前区東有馬
- ②宮前店
- ③柿・ミカン・ユズなど

出荷者のコメント

年間5品目の果物を栽培しています。柿は「甘秋」と「次郎」の2品種を栽培。消費者に「大きくて甘い柿を食べてほしい」との思いでなるべく1つの枝に1つの実をならすようにしています。現在、9月の収穫に向けて剪定作業中。出荷した際はぜひご賞味ください。

市川 悌二さん



- ①麻生区黒川
- ②麻生店
- ③サトイモ・ダイコン・ミニトマトなど

出荷者のコメント

15年ほど前に就農し、年間約30品目の野菜を露地とハウスで栽培しています。落ち葉や近隣の乗馬クラブの敷きわらなどを入れて土作りをした畑で、品質の高い農産物に仕上げています。1月下旬以降は、のらぼう菜がおすすすめです。ぜひご賞味ください。

①住所 ②出荷店舗 ③主な出荷品目 ※()は出荷登録者名

セレサモスからのお知らせ



セレサモス麻生店

1月下旬以降、長ネギやホウレンソウなどが多く出荷される予定です。

長ネギは白い部分に弾力があり、巻きがしっかりしたものがおすすすめです。購入後は新聞紙で包み、冷暗所で保存しましょう。汁物の他、焼いてからマリネにしてみてもいかがでしょうか。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172
電話：044-989-5311

営業時間：(11月～3月)10:00～17:00
※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。
定休日：毎週水曜日、年末年始他

2月の出張販売

7日(木)11:00～御幸支店
14日(木)11:00～大島支店
21日(木)11:00～みなみ支店

お米の日

【麻生店・宮前店】
毎週金・土曜日は1銘柄を2割引で販売いたします。
※割引制度については、予告なく変更する場合があります。

☆セレサモスの駐車場について
警察署からの要請により、路上での入場待ちは一切できません。

セレサモス宮前店

1月下旬以降、コマツナやホウレンソウなどが多く出荷される予定です。

コマツナは葉が濃い緑色で、やわらかいものがおすすすめです。アクが少なくクセもないので下ゆでせずごま油で炒める他、汁物や雑煮などの具材として使ってみてもいかがでしょうか。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4
電話：044-853-5011

営業時間：(通年)10:00～18:00
※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。
定休日：毎週水曜日、年末年始他



材料 (4~5人分)

- ・ゴボウ…1本
- ・ニンジン…50g
- ・レンコン…100g
- ・生シイタケ…100g
- ・しらたき…1袋
- ・サラダ油…大さじ2
- ★ { 砂糖…大さじ1
- 塩…適量
- 醤油…大さじ1.5
- みりん…大さじ2.5
- 酢…大さじ2
- 白ごま…適量

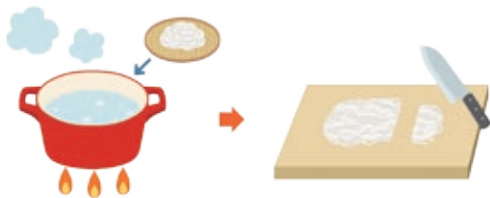
炒りなます

作り方

① ゴボウはささがき、ニンジンは千切り、レンコンはいちょう切り、生シイタケは細切りにし、ゴボウとレンコンは水にさらす。



② 鍋に湯を沸かし、しらたきを1分ほど茹で、5~6cmの長さに切る。



③ 鍋にサラダ油を熱し、ゴボウ、ニンジン、しらたき、レンコン、生シイタケの順に入れ、炒める。



④ ③に★を加え、炒める。



⑤ ④に酢を加え、火を止める。



⑥ 白ごまを散らしたら、できあがり。



ワンポイントアドバイス



多摩区長尾 細田 美佐子さん

酢を入れることによってさっぱりとした味になります。④で全体の味が決まるので、お好みで調整してください。また、冷めてもおいしく食べれるので、作り置きにおすすめです。ぜひお試しください。